

第4章 防府市における公共交通の課題

まちづくりの方向性、本市を取り巻く環境、公共交通の状況、公共交通に関する各種調査結果から現状を分析し、本市における公共交通の課題を整理しました。

(1) 公共交通の担い手の確保

市内公共交通を担う事業者（路線バス、鉄道、タクシー、航路）へのヒアリングでは、「運転士の高齢化」や「人材不足」の問題が挙げられています。また、働き方関連法や改善基準告知の改正に伴い、令和6年4月から運転士の時間外労働時間や拘束時間等が厳格に設定されることから、現在の運転士の数のままでは既存の公共交通の維持に支障をきたす恐れがあります。

公共交通サービスを将来にわたり、持続的に供給するために、公共交通の担い手の確保が喫緊の課題となっています。

(2) 持続可能な公共交通ネットワークの形成

人口減少・高齢化等、本市を取り巻く環境が変化している中で、持続可能な都市構造の形成が求められています。コンパクトなまちづくりに資する公共交通ネットワークを形成する必要があります。

(3) 利用者減少への対応

新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、公共交通の利用者数は大幅に減少し、その後回復傾向にありますが、コロナ以前の水準には戻っていません。

(4) 財政負担の適正化

公共交通サービスを維持するために、市の財政負担が年々増加しています。路線の効率化や利用促進等により財政負担の増加抑制に努め、将来にわたって持続可能な公共交通ネットワークとしていく必要があります。

（５）交通弱者の増加

高齢化の進行や運転免許証の自主返納者の増加に伴い、自動車を運転することが出来ない「交通弱者」の増加が見込まれる中で、安心して暮らせる移動手段の確保が求められています。

（６）公共交通の利便性向上

市民アンケートの「公共交通の利便性に対する満足度」は全体で37.4%と低い状況にあります。地域ごとの利便性に関する満足度は、様々な要因が関係していると考えられます。

（７）関係者の連携・協働

利用者数の減少や公共交通の担い手不足から公共交通の維持・拡大は困難な状況です。課題解決に向けて、地域、交通事業者、行政をはじめとする関係する主体が一体となって、連携・協働する必要があります。

（８）環境にやさしい公共交通

市民アンケートによると自動車を利用する人の割合が70%を超えており、自家用車への依存度が高いことがうかがえます。既存公共交通の確保・維持だけでなく、安全な環境を確保するためにも利用の転換が求められます。

（９）公共交通に関する情報発信の強化

路線バスのサービス改善として、時刻表や路線図等について、分かりやすい情報提供が求められています。

（10）利用環境の整備

路線バスや鉄道のサービス改善として、利用環境の整備が求められています。交通結節点や利用の多いバス停、駅等を中心に、利用しやすい環境を整備する必要があります。